

どう生きればいいのか？

人が健康でいるために
あらゆる観点から研究をし続けた
丸山先生が
今あなたに贈るメッセージ！

Vol.19からの続きです



丸山アレルギークリニック理事長
丸山 修寛

幸せになる情報マガジン
丸ちゃん通信 vol. 20

2022年8月発行

丸山修寛の呟き

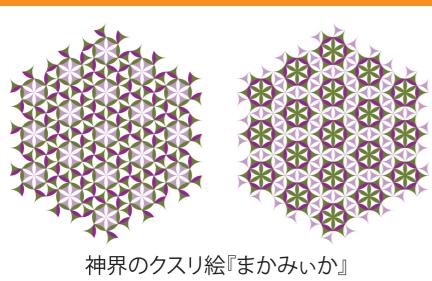
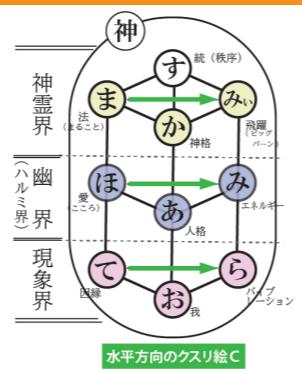


神界・幽界・現象界のクスリ絵

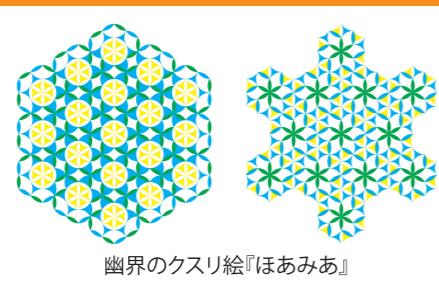
十言神呪の第三の組立てには、神界・幽界・現象界が示されている。そして、それぞれの世界を表すクスリ絵がある。これらを私たちが見ること、触ることによって、神界・幽界・現象界と共に鳴る私たちの心の内側にある場が正しく働くようになる。その結果、自分たちに連なる幽界の靈人・神靈界の神人・神そのものと繋がりやすくなる。

これらは、二つで一組となっている。左右の手を二つの祈り絵の上に置いて、十言神呪を唱えてみてほしい。この祈り絵は、全部で三組ある。どの祈り絵から触れても良いので、その時その時、思ったように触れてみてほしい。

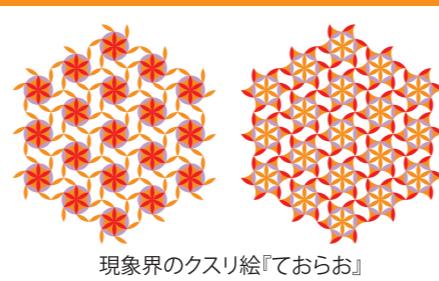
※十言神呪 読み:ことのかじり ※御稜威 読み:みいつ



神界のクスリ絵『まかみいか』



幽界のクスリ絵『ほあみあ』

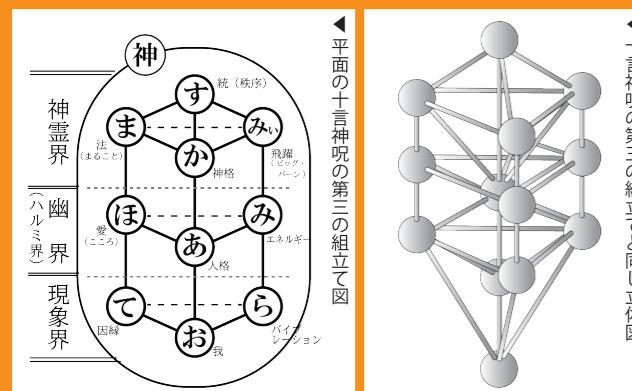
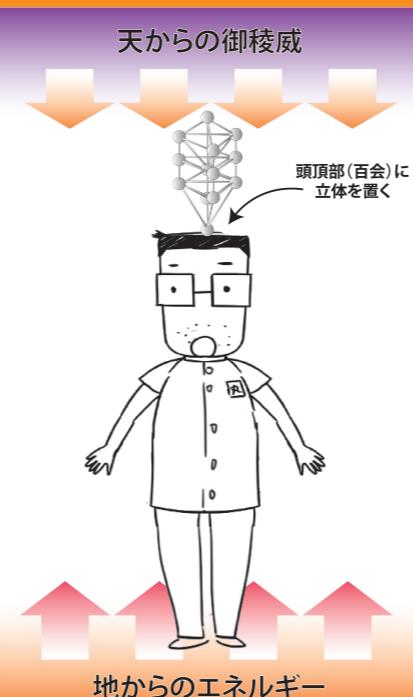


現象界のクスリ絵『ておらお』

十言神呪 第三の組立てと立体力バラ

第三の組立ては平面図として書かれているが、同時に図のような立体もある。この立体には、天からの御稜威を受けるとともに、地からのエネルギーを受ける働きがある。人がこの立体を持つとき、人の中で天からの御稜威と力のエネルギーが一つになる。特に、この立体を人間の頭の中心（頭頂部の百会といわれるところ）に置くと、確実に一つになる。

※実際に立体力バラを使って十言神呪を実践する方法は次号お届けします。



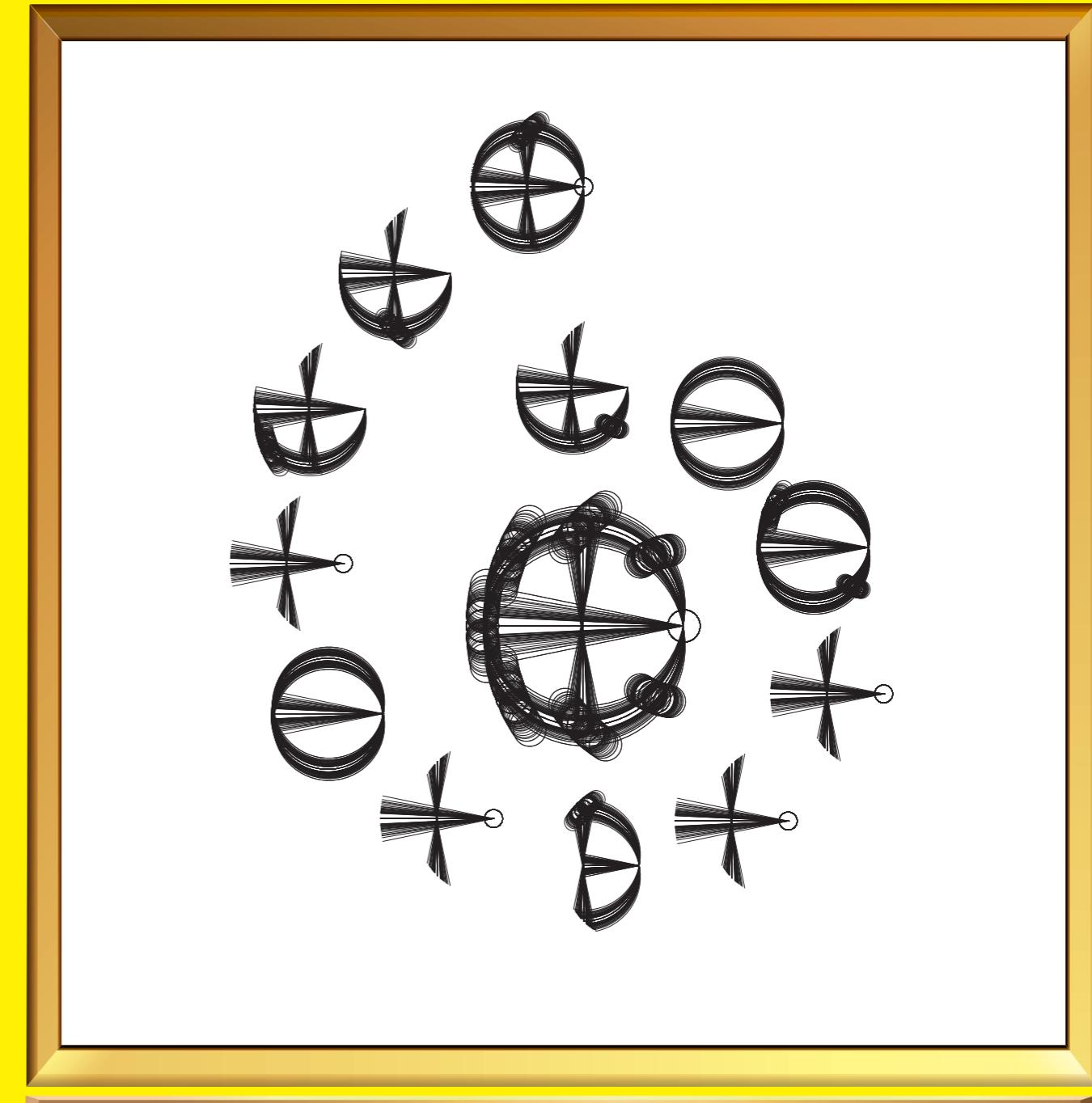
丸ちゃん通信 VOL. 20 (2022年8月15日発行)

◎発行：丸山 修寛 ◎問い合わせ先：info@maruyamanobuhiro.com
◎編集・送付元：株式会社ユニカ

※この案内は株式会社ユニカでダイレクトメール送付希望登録されているお客様へもお送りしています。

※配信停止を希望される方は、上記アドレスまでご連絡をお願いします。

大好評の
DVD・音声教材は
こちらの
QRコードから



今回のクスリ絵 カタカムナウタヒ第2首 空間ずらし

ウタヒ第2首「ヤタノカカミ カタカムナ カミ」を、1/137×360度ずらして創ったクスリ絵です。軽く目を閉じて、自分の呼吸を数十秒から数分観察すれば、心はゼロ(無)の状態になります。その後、周囲のウタヒをなぞっていきます。すると、人の意識が文字やラセンと共振して、その場に高次元空間が現れます。ウタヒを使うと、三次元世界にいながら高次元領域と誰でも簡単にそして確実に同調することができます。高次元ウタヒを指でなぞると高次元空間が人の身体の内側や身体の周囲の空間に現れます。敏感な人は体に微妙な風圧や風を感じるかもしれません。指でなぞる他に、背中に図柄を外側にして貼ったり、気になる部分に貼って使用してもいいでしょう。

クスリ絵とは

眺める・触れるだけで体の不調が消え、運気が上がる「クスリ絵」は、医師・丸山修寛が研究・開発したオリジナルのアート。

神聖幾何学、数字、パワーを持つ形によって描かれた「クスリ絵」は、生命エネルギーの調整や人間が持つ自然治癒力、潜在能力を引き出すのに最適な形や色でつくられたものです。

※このクスリ絵は切り取って飾ったりファイルしたりしてもご使用いただけます。

ガン・難病を癒す奇跡の技法 ブッダとイエスの魔法の『ループ』

私と私の潜在意識、ハイヤーセルフの三人で手と手を取り合ってつくる輪つかを『ループ』といいます。今回もループのやりかた、コツなどをお話したいと思います。

フラフープのような輪が現れた

人と潜在意識とハイヤーセルフが手と手を取り合うとループができます。私がループをはじめてしばらくたったころのことです。フラフープのような歪みのない正円の輪のイメージが現れました。私と潜在意識とハイヤーセルフが握り合っている手の中を通るように、フラフープの輪が現れたイメージです。

輪を中心に三者が一つになるとなんだかしきりいきます。もちろん、この輪を握りながらお互いの手と手はつながっていますが。それ以来、ループをするたびに、この輪がイメージされて出てくるようになりました。みんなで手と手をつなぐと、なんとフラフープのようなきれいな輪が現れました。

光のループ

フラフープのような輪は、柔らかな光の色をしているので光のループと名付けました。ループをしながら、軽く目を閉じて心の中で光のループだけに注目します。すると、潜在意識とハイヤーセルフが消えて光のループだけが見える場合があります。人によっては、光のループと潜在意識とハイヤーセルフも見える場合もあります。見え方はどちらが正しいか、何が正しいかなどはありません。

光のループをイメージしながら意識を自分のヘソがあるあたりに持っています。『自分のヘソはどこかなあ』と思うと意識はヘソに行きます。すると、胸あたりにあった光のループがヘソがある高さまで下がります。ヘソがあるあたりは丹田と呼ばれる氣が集まる場



所であるため、光のループの輝きが増すように見えます。これらはあくまで私個人の見え方なのでこのように見えなければいけないということは全くありません。光のループをイメージし、自分のヘソはどこにあるかと思うだけで、光のループは丹田近くに移動します。

ループの実践

ループの実際のやり方について説明します。はじめは、誰もいない静かな場所で行います。今日、生まれて初めてループをするということを心の中で思います。

次に自分の潜在意識とハイヤーセルフに手を繋いでくれるようにお願いします。マンガのように、両手を彼らに差し出します。自分の潜在意識とハイヤーセルフが手をつないでくれたと感じたら（何も感じない人は手をつないでくれているようなイメージをしたら）その時のフィーリングを味わいます。私の場合は緊張が取れるせいか、毎回、自然に口元がほころびます。気持ちもいい風を感じるときもあります。自分の手に彼らの手の重さを感じるときもあります。自分がいいと思うまで、手と手をつないだ状態を楽しめます。

光のループが見えたなら、それに意識を軽く向けながら、首を曲げないで顔を前の方に向いたままの姿勢で『自分のヘソはどこかなあ』と思います。すると、意識が頭からヘソの方に移動します。そのまま光のループを維持しながらヘソがある丹田に意識を向けます。ループをする前やループをしている最中には何も期待しない、何も願わない、何も望まないようにします。できれば無心に近い状態にします。もし何らかの思考や感情があらわれたら、ただ気づくだけにします。青い空に浮かぶ雲を見るように、思考が来ても去っていくをただ眺めるということです。これを三十秒から三分くらい続けます。その間、意識がループや光のループからそれてもかまいません。それだと思ったら、

ループや光のループに意識を戻します。以上でループの基本は終わりです。

ループを何かを得るための手段や何か別の自分になるための手段として用いるのではなく、ループをすること目的として日々楽しむとき、期待以上の変化が起ります。

いつ、どれくらいの時間ループをするのか

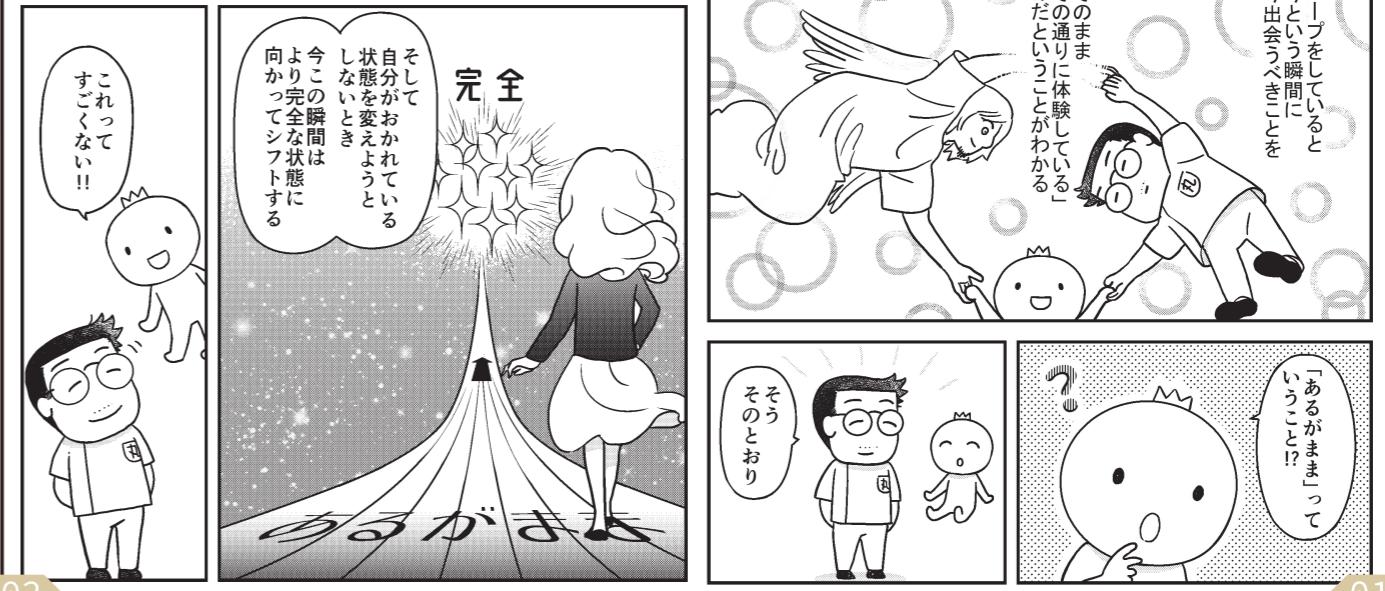
一回のループに要する時間は二分、三分です。慣れてくると一分で効果が出ます（厳密には効果を出そうとやってはいけませんが）。まずは、朝起きたとき、時間が空いた時、夜寝る前にすることをお勧めします。朝、起きたら『おはよう。私の潜在意識とハイヤーセルフ、ループをしよう』と心の中で言つて、両手を彼らに差し出します。すればすぐにループのプロセスがはじまります。寝る前にも、『今日はありがとう。ループをして寝よう。』と心の中で言つて手を差し出すだけで、あとは彼らがうまくやってくれます。

ループをしながら、徹底的且つ絶対的に「じっと」します。少なくとも、ループをしているひと時は、考えることを放棄します。そして、『ただ在ること』を選びます。すると、すぐに静寂があることに気づきます。静寂の中に、なおも留まっていると、安心とくつろぎが訪れます。

何もない

私はループの最後に潜在意識やハイヤーセルフとつないでいた手をゆっくりと放していきます。花のつぼみが開くようにゆっくりと握っていた手を開くのです。つかんでいたものをすべて手放して宇宙にゆだねるような気持ちでやります。光のループは消えます。心の中には何もなります。静かです。無や静寂を感じます。でもそこには満ち足りたフィーリングがあります。この何もなさに続く無や静寂が『本当の自分』だと気づきます。

無や静寂は『本当の自分』です。



あるがまま

ループを正しいなどから
判断間違をしないなどの
あるがまま

ループをしていて
のと通りにこども
体験していること

01
02

光のループを終えたあとに心に感じる無や静寂は『本当の自分』です。

丸山 修寛